

## 観光分野の定義及び現状と課題

### 観光の定義

- 「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行うさまざまな活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目的とするもの」  
(出典：観光政策審議会「今後の観光政策の基本的な方向について（答申第 39 号）1995 年 6 月」)
- 【21 世紀初頭の観光振興を考える基本的視点】誰もが「気軽」に楽しめる観光の振興、住民と旅人とが互いに交流しあう観光の振興、自然・社会環境と共生する観光の振興  
(出典：観光政策審議会「21 世紀初頭における観光振興方策」～観光振興を国づくりの柱に～（答申第 45 号）2012 年 12 月）

### 観光分野の現状と課題

#### ① 新たな生活様式に対応した観光スタイルの確立

- ウイズコロナ、ポストコロナにおいて、性別、年齢、国籍等に関わらず、誰もが安心して楽しめる新たな生活様式に即した受け入れ体制を整える必要がある。
- 新型コロナウイルスで深刻な打撃を受けたインバウンドの回復の見通しが立たない中、マイクロツーリズムの発想を取り入れ、地域の観光資源を新たに開拓し、楽しめるような区民参加型の観光サービスを充実させることが重要である。
- 区内観光地と併せて飲食店等の区内事業者を SNS で紹介すること等により、区内の回遊性を高める施策展開が必要である。
- 将来的なインバウンド需要の回復を見据えた取組が必要である。

#### ② 観光資源の活用・保護による新たな魅力の創出

- 観光振興の推進にあたっては、本区の豊富な観光資源の保全・活用や既存事業の拡充を進めるとともに、新たな魅力の創出に向けた取組や、ICT の活用等による事業の実施等が求められる。
- 国内外からの観光客をおもてなしの心で迎え入れるため、引き続き多様な人材による観光ボランティア養成が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による観光ボランティアの活動機会の減少を踏まえて、新たな活躍の場の提供が必要である。
- 観光ボランティアのレベル向上によるサービス内容の充実により、他地域との差別化を図り、集客力を強化することが重要である。
- 区内の歴史的・文化的資源を結ぶ観光ルート の提案やストーリー性の付加により、観光資源の価値向上を図ることが重要である。
- 芸術文化等との融合型事業が重要である。

#### ③ 区内観光の情報の収集・活用による来訪の促進

- 行きたい場所をあれこれと考える観光意欲の醸成につながる様々な情報発信を行い、本区への関心や認知度を高め、旅行者の来訪を促進することが求められる。
- WEB、SNS、YouTube などの様々な媒体を通じた情報発信、口コミ誘発に繋がる取組・仕掛け、VR 等の ICT の活用が重要である。
- 区外の観光インフォメーション等、外部からの観光情報の発信により、区が発信する情報に接する機会が少ない層への働きかけが重要である。
- 区内の大学などに通う留学生や外国人との協働により、外国人視点での観光資源に関する情報発信を推進する必要がある。
- 来訪者に対して、旅マエ・旅ナカ・旅アトを意識した情報発信・共有が重要である。

#### ④ 区民・来訪者から愛され続ける観光振興の推進

- 区民や区内事業者及び様々な分野との連携による交流人口や関係人口を創出する取組により、本区を訪れた旅行者を再訪につなげることが重要である。
- 本区と協定等を締結している国内 13 自治体や海外の姉妹都市・友好都市等との観光交流交歓や四季を通じたイベントの開催等により、交流人口や関係人口を創出し、来訪につなげることが重要である。
- 誰もが、安全・安心に旅行ができる環境づくりが重要である。
- 来訪者の区内観光・消費を促進するため、観光施設やスポーツ施設等との連携による本区の魅力の発信に取り組み、区内の回遊性を高め、観光消費拡大や再来訪につなげることが重要である。
- 区民と来訪者の交流機会を増やし、関係性を深めることで、区民と来訪者、両者の「文の京」への愛着を育むことが重要である。
- 点在する観光スポットへの区民や来訪者の交通手段として、自転車を安心して利用できる環境づくりが必要である。